

薪ストーブと煙突のメンテナンス



Model:AD-3600



Model:HTC-60TX



Model:HTC-90TX



株式会社 ホンマ製作所

〒950-1237 新潟県新潟市南区北田中801番地8

TEL : 025-362-1235 (代) FAX : 025-362-1238

URL : <http://www.honma-seisakusyo.co.jp>

薪ストーブを快適に使うにはメンテナンスも重要です。

1) 煙突掃除

煙突は人に例えると「血管」です。 煙突内部にはススが付着して煙道を塞いでしまうことがあります。 薪ストーブの血管とも言える煙突内部をきれいにすることで煙の流れもスムーズになりますので、煙突掃除は定期的に行ってください。



【屋外煙突の掃除の場合】

1. T曲のフタを外します。

(写真は二重煙突です)



2. 予めビニール袋の中に煙突ブラシを入れ
ブラシの接続部を出すための穴を開けます。

(養生テープを貼ってから穴を開ける)

ビニール袋をT曲に養生テープで固定します。



3. 煙突ブラシと掃除棒をつなぎます。



4. 煙突ブラシをT曲の開口部から上に向かって
さし込みます。



5. ゆっくり上下に動かしながら、
掃除棒を奥へさし込んで行き、煙突
長さによって掃除棒を継ぎ足す。



6. 落ちてきたススは飛び散らずビニール袋の
中にたまります。

掃除が終わったらゆっくりブラシを抜いて、
ススがこぼれないように袋を外して下さい。

薪ストーブのメンテナンス方法

2) ガasketロープの交換

扉やフタの周囲や耐熱ガラスの周囲にはガスケットロープが貼られています。火室の気密を保つために重要なロープです。ガスケットロープも古くなると本体と扉に隙間が空いたり、エアークントロールが出来なくなりますので、そうなる前に交換して下さい。



1. 古くなったロープを剥がし、溝に残っている接着剤を割り箸のようなもので削り落とし、そこへ耐火セメントを溝に沿って出して下さい。



2. 溝全周にセメントを塗ったら指でなぞるように均して下さい。
ビニール袋を使うと手が汚れません。



3. ロープを溝に沿って固定して下さい。
(少し押しながら)



4. ロープが剥がれないように指でロープの上から押さえながら固定して下さい。



5. ロープが全周に固定出来たら2～3時間程度乾燥させて下さい。

※耐熱ガラスの縁のロープも同様です

ガラスを外す際はガラスの止め金具をドライバーで緩め、ガラスを落とさない様気を付けて外して下さい。

ガラスをはめる際も気を付けて下さい。

薪ストーブのメンテナンス方法

3) 耐熱ガラスのクリーニング

薪ストーブの醍醐味である炎を見るためにも、いつもガラスをクリーンにしましょう。ガラス内側のスス汚れを落とすためには「ガラスクリーナー # 8 2」がお勧めです。ガンコな汚れには「コンディショニングガラスクリーナー # 8 4」で落として下さい。



1. ガラス扉を開け、下に新聞紙を敷いて床が汚れないように準備して下さい。



2. ガラス面全体に直接、スプレーします。
(ストーブが冷めた状態のときに行ってください)



3. スプレーして濡れたガラス面へ
ティッシュを貼り付けます
(ガラスの大きさに応じて数枚
貼り付けます)



4. ティッシュの上から再度スプレーし、
そのまま5分程度放置します。



5. ティッシュがこびり付いた煤・
タールを吸着します。
その後、ティッシュを剥がします。



6. 最後に乾いた布でガラス面をきれいに
拭き取ります。
※落ちにくい箇所はもう一度繰り返して下さい

薪ストーブのメンテナンス方法

4) ストーブ表面の保護

鋳物や鋼板製ストーブは素材が鉄ですので、シーズンオフは錆を防止するため表面をワックスなどで保護して下さい。「ストーブポリッシュ#70」はストーブ表面を保護し、質感も復元できます。耐熱ペイントでも効果があります。



1. シーズンオフはストーブ表面に錆が発生しやすくなります。
ストーブポリッシュは防錆に適してます。
※表面の汚れや錆を始めに落として下さい



2. ストーブポリッシュを適量ストーブ表面にチューブから出して下さい。
均等に塗るためには写真のように置いていくと作業しやすいです。



3. 乾いた布やタオルなどでストーブポリッシュを延ばしながら擦り込んで下さい。



4. 表面が乾いたら新聞紙などで表面をこすり、その後乾いた布で仕上げして下さい。
新品同様な質感に戻ります。

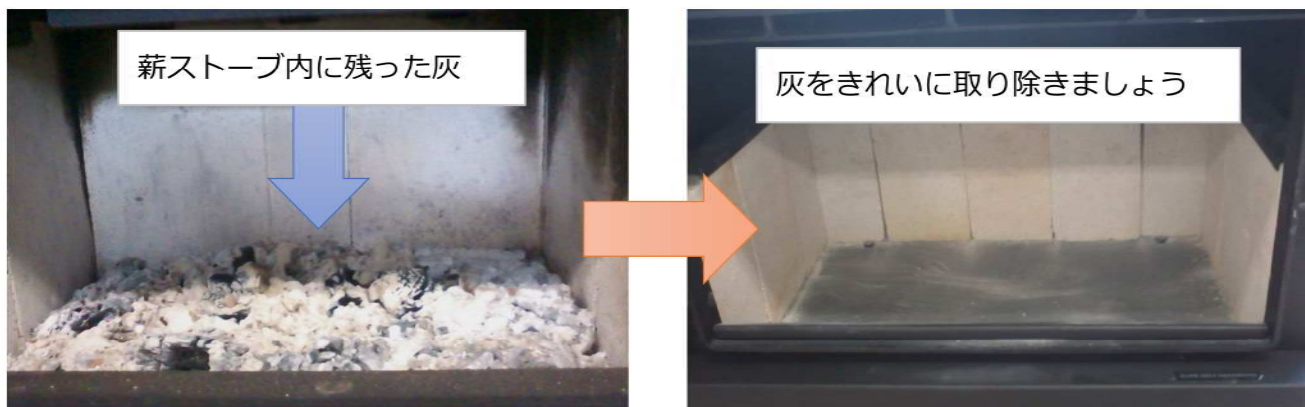


耐熱塗装したストーブは長期間使用すると左の写真(左)のように塗装が白っぽくなってきます。ストーブポリッシュを塗布しますと(右)のように復元でき、シーズンオフの防錆にもなります。ストーブポリッシュ以外にも耐熱塗料を表面に塗ることで保護・防錆効果があります。耐熱塗料はスプレータイプと刷毛塗りタイプがございますので、用途によってお選び下さい。

薪ストーブのメンテナンス方法

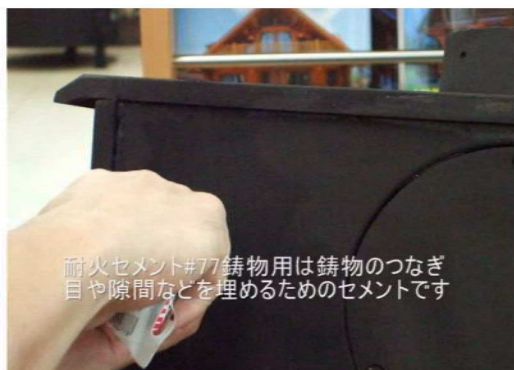
5) 残った灰の取り出し

薪ストーブシーズンが終わったら残った灰はきれいに取り除きましょう。
放っておくと湿気を吸いますので、薪ストーブ内部が錆びやすくなります。
内部部品の交換ができなくなったり、錆によって鋳物や鋼板が劣化してしまいます。

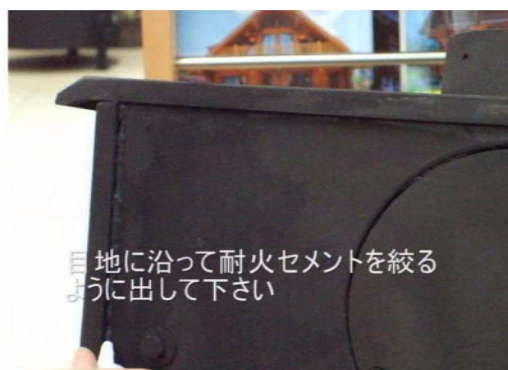


6) 鋳物ストーブの目地補修

鋳物ストーブは底、側面、天板といった部品で組み立ててあるため、つなぎ目には耐火セメントが使われています。この耐火セメントも使用して行くにつれ劣化してきます。剥がれおちる前に「耐火セメント#77」で目地を補修しましょう。



1. 耐火セメントを鋳物ストーブの目地・つなぎ目に沿って絞り出します。



2. 隙間が無いようにうまく絞り出して下さい。(多少、力が必要です)



3. ゴム手袋やビニール袋を使って上から指先で馴染ませて下さい。



4. 均等に馴染ませたら、2～3時間程度乾燥させて下さい。

薪ストーブのメンテナンス方法

7) 耐熱ガラスのクリーニング（しつこいタール汚れの場合）

ガラスが真っ黒になってしまうほどタールで汚れてしまうと、なかなかキレイにすることは難しいですし、無理に落とそうとするとガラスに傷が付きます。

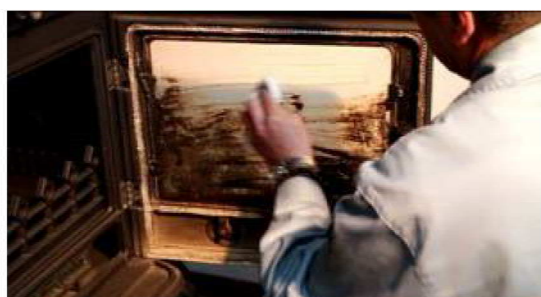
しつこいタール汚れには「コンディショニングガラスクリーナー # 8 4」が最適です。



1. 耐熱ガラスがタールで真っ黒になっている場合、コンディショニングガラスクリーナー # 8 4 がお勧めです。



2. クリーナーを適量、ウエスや布に取って直接ガラス面を拭きます。



3. こびり付いたタールもきれいに落とすことができます。

※力を入れ過ぎないように注意して下さい



4. 全体的にタールが落ちたら、乾いた布で再度ガラスを拭いて下さい。

※シリコン成分によりタールが付きにくくなります